

## 会 議 録

### 1 会議名

令和7年度 第4回高士区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 報告事項（公開）

- ・雄志中学校と牧中学校の統合について

#### (2) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

### 3 開催日時

令和7年7月18日（金）午後6時30分から午後8時5分まで

### 4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：上野副会長、上野(美)委員、塩尻委員、高橋会長、田中委員、  
塚田(幸)委員、塚田(誠)委員、馬場委員、保坂委員、山口委員  
(欠席2名)

- ・教育総務課：小池参事、三輪係長

- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

#### 【高橋会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【高橋会長】

- ・会議録の確認：馬場委員に依頼

次第3 議題「(1) 報告事項」の「雄志中学校と牧中学校の統合について」に入る。教育総務課からの説明に入る前に、事務局へ諮問・答申についての説明を求める。

【村山副所長】

先月、牧中学校を廃止することについて、牧中学校が所在する牧区の地域協議会に対し諮問があった。牧区地域協議会から、地域住民の生活に支障なしとの答申があったことから、本日、統合する雄志中学校区の各地域協議会に経過を報告するため、担当の教育委員会の教育総務課が出席している。

今期はまだ高土区に関する諮問事項を取り扱っていないため、初めに事務局から諮問・答申について説明する。皆さんが地域協議会委員に就任した際に配布した委員の手引きに詳細が記載されているが、地域協議会には、二つの役割があると説明した。一つ目が、自主的な審議で、もう一つが、諮問と答申である。諮問と答申とは、諮問という形で、地域自治区内にある公の施設の設置や廃止、管理の在り方などに関し、市長から意見を聴かれた事項について話し合い、その結論を答申という形で市長に返すものである。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

質問、意見が無いようなので、「雄志中学校と牧中学校の統合について」教育総務課へ説明を求める。

【教育総務課 小池参事】

- ・資料1、2、3に基づき説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

私から質問する。PTA活動が雄志中学校にはなく、牧中学校にはあるということだが、統合した時点でPTA活動は当然なくなると思う。統合後の学校での活動に対する

不安の解消や、保護者の協力体制というのは、どのような形で進めるのか。

【教育総務課 小池参事】

雄志中学校へ確認したところ、PTA組織はないが、各学年に2人の保護者代表がいて、学年の親子活動などはそちらで企画している。また、学年の保護者代表2人のうち、1人は学校運営協議会委員として学校運営に関する協議に参加している。このように、雄志中学校では保護者と連携を取っているということを牧中学校の保護者の皆様にお伝えする必要があると考えている。

牧中学校の保護者が、PTA組織がなくなることだけに不安を感じているのか、他にも不安があるのかについても、よく話を聞く必要があるため、8月下旬にまずはPTAの正副会長から話を聞き、必要に応じて秋頃に保護者説明会を行いたいと考えている。

また、私の案だが、統合後の1年間は、令和9年度に牧中学校のPTA会長になる予定だった方に牧中学校の保護者代表として、学校との橋渡し役になっていただけないか提案することもあると考えている。

【高橋会長】

統合となると、保護者や生徒たちも様々な不安材料が出てくるので、配慮をしていただきたい。

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

質問、意見が無いようなので、以上で、次第3議題「(1) 報告事項」の「雄志中学校と牧中学校の統合について」を終了する。

・教育総務課退席

ここで、前回の報告事項「地域計画」に関し、事務局預かりとしていた質問について、回答を求める。

【井守所長】

先月の地域協議会で報告した、農業経営基盤強化に関する「地域計画」に関し、事務局から回答ができなかった二つの質問について、担当課に確認し、回答を預かってきたので報告する。

まず一つ目は、高士区におけるほ場整備の現状に関する質問である。回答は、現在、高士東部地区と高士南部地区において、令和5年度から県が主体となって県営ほ場事業を実施している。進捗率は、高士東部地区が6.6%、高士南部地区が18.8%であり、令和6

年度まで測量実施設計を行ってきたが、今年度以降、ほ場整備工事を実施していく予定とのことである。

そして二つ目は、多面的機能支払交付金制度の今後に関する質問である。この制度は農業者と地域住民による農地の維持活動等に対する国の補助制度で、現在、高士地区においては、10 組織がこの交付金を活用して活動している。今後も地域が実施する農業用維持活動等に対し、市で補助金を交付していくということであった。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

質問、意見が無いようなので、次に、次第 3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

・資料 4 について、説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

次に今後の協議に当たり、私たちがこれまで話し合ってきた課題が高士区の実情を捉えているか確認する必要がある。その手段として、アンケートを実施してはどうかと事務局から提案があったので、この方向で進めていきたいと考える。地域協議会の意見を高士区の皆さんに知っていただくには、多くの方から意見をお聞きしなければならないと考える。その点を踏まえながら、地域協議会はこの協議をしているが、高士区の皆さんはどう思うかというような形でアンケートを作成してはどうかと思うが、その上で何か良い意見があればお聞きしたい。

まず、アンケートの実施について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

これまで地域協議会で検討してきた地域の課題が、地域の皆さんの考えていること、感じていることと乖離していないか確認する必要があると考え、正副会長との事前打ち合わせの際にアンケートの実施を提案した。アンケートは、地域のことを一番把握されているであろう町内会長の皆さんに聞いてはどうかと考えている。

今後、これまで地域協議会で話し合ってきた内容をまとめ、地域協議会だよりを通じ

て委員の考えをお知らせした上で、町内会長の皆さんへアンケートを依頼したいと考えている。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

【上野副会長】

今まで地域協議会で検討してきて、コミュニティ、子育て、人口減少という 3 つの項目に絞った。地域協議会の考えが一人歩きしないようにするためには、地域の皆様へのアンケートが必要であると私は考えているので、アンケートをすることは差し支えない。アンケートを実施することで地域の方の考えも出てくるかと思う。

【高橋会長】

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、アンケートを実施することとしてよいか。

(よしの声)

賛同いただけたので、アンケートを実施することで進める。

アンケートの参考事例や、本日の協議の進め方について、事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

・資料 5、参考資料について説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

【渡邊係長】

資料 5 のとおりではあるが、先ほど上野副会長からも補足していただいたように、今まで皆さんで考えてきた課題が一人歩きしないよう、町内会の皆さんと課題を擦り合わせるということを目的に足したいと考えるがよいか。津有区では、ゼロベースでいろいろなことを質問したが、高士区は既に皆さんにいろいろなことを協議していただき、皆さんが思う地域の課題という仮説が立てられている。その仮説に対して地域の考えとの擦り合わせを実施することを目的に明記したいと考える。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

内容についてはこれでよいか。

(よしの声)

次に、項目ごとの質問について各委員から意見を伺いたい。まず、コミュニティについて意見を伺いたい。事前に考えていただいたと思うが、考えても分からないというようなことがあれば、パスしても構わない。

【馬場委員】

私はコミュニティに関して、資料 4 の内容のように、高齢者がコミュニケーションを取る機会はあるかということを町内会長に聞いてはどうかと思う。

【保坂委員】

地元の老人会は解散し、もう存在していない。町内として集まるのは春と秋の祭りが中心で、それ以外には特にはない。高齢化が進んでいて、毎日顔を合わせることはほとんどない。どうやってコミュニケーションを取っていくのか。津有区の例のように、各町内でどんな行事等を実施しているか、アンケートに入れてよいのではないかと考える。

【山口委員】

老人会の有無を聞くのはよいと思う。また、例えば、老人会の会員数が 20 人として、活動に出る人のほかに、体力的に参加できない、名前は登録してあるが、介護施設へ入ってしまった、1 週間に何回かのデイケアへ行っているなどの人数も聞いてはどうか。

【上野副会長】

コミュニティで、まずは老人会があるかないかということより、老人会のない町内会は今後立ち上げることができるのかを聞いてはどうか。

もう一つは、コミュニティの住民同士の情報の共有の場が少ないということだが、例えば、祭りとか茶話会などを設けるということで、情報の共有ができるのではないか。

【高橋会長】

まず、町内会に住民が集う居場所はあるのかを聞きたい。また、町内会館の活用として、何か具体的にしているのかも聞きたい。また、どのような活動をしている団体があるのかも聞きたい。

【上野(美)委員】

私は老人会、老人会以外も含めて、どのくらいの頻度で活動しているのかということと、その活動で大体どのくらいの人数が集まるのか聞きたい。

【塩尻委員】

住民同士の情報共有の場が少ないという課題に対して、老人会以外に高齢者がコミュニケーションを取る機会があるのかという質問をしたい。うちの町内会は、今までコロナ等で盆踊りをやめていたが、今年は何かやろうと検討している。盆踊りとなると、婦人会が練習などで負担になってしまうので、町内交流会という名前にして、町内の役員と子供会、青年会、婦人会が集まって話し合った。そういうところで何か発展があれば、老人会とは違うコミュニティで、何かできるのではないかという気持ちがある。

【田中委員】

地元では現在、会というものは一つもない。老人会も数え 60 歳からということで 3 回ほど会費を払ったが、全然出ないので会費はいらないと言われ、その後しばらくして老人会は解散した。子供会も人数が減少し、1 軒しかなくなったときにこれでは成立しないということで止まったままで、今は 2 軒あるが、もう再開する可能性はない。

以前は焼肉大会などで集まることはあったが、コロナの関係で中止してから、再開したいという声が上がらないので、これも再開はないと思う。だから、町内で集まるのは年に 5、6 回しかない。年始会とか総会と春祭り、夏祭り、そういうこと以外に常会もあったが、それも今はほとんどやらない。まず全員が集まる会というのはほとんどなく、避難訓練くらいしかない。役員会は年に 5 回ぐらいで、コミュニケーションの場というのはゼロに近い状態だ。だから、アンケートをしても、何をしても出てこないと思う。

【塚田(幸)委員】

私の町内も、コミュニケーションを取る場がゼロに近い。毎年やっていた年始会がコロナ禍以降なくなり、ただ会って新年の挨拶をして解散するだけでもいいのに、それすらもない。だから、農作業の際に集まって、その後に軽く一杯などはもちろんなく、本当にコミュニケーションを取る機会というのはゼロに近い。子供のいる家も 1 軒で小学生が 3 人いるだけで、青年会はもちろんない。なす術もないような状態で、本当これからどうしたらいいのかと、私自身不安で仕方がない。

【塚田(誠)委員】

私の町内では、祭りなどの人を集めるイベントをやるように心掛けていて、そういう機会や団体を作っている。町内の中で、懇親会のような実行委員の人たちを集めて団体を作り、何かのイベントをすれば、人が集まる機会が増えると思う。他の町内の人たちも何かのイベントを開いたり、何かの団体を作ったり、堅苦しいメンバーではなく、こういうイベントをするならやったらどうだという機会をもっと増やした方が、コミュニ

ケーションが取れるのではないかと考える。ただ、それをまとめる人がいるかいないかという面はあるが、そういうことがあっても面白い。「イベントを開催するための団体を作ってみませんか」というようなことを、町内会に確認しても面白いと思う。

【高橋会長】

皆さんから意見をお聞きして、活動している町内と活動していない町内が、はっきり分かれている。コミュニケーションが取れる機会について、各町内会で異なるため、どういう形で町内会長にお聞きしたらいいのか、皆さんの意見をお聞きした中で、簡単な項目でお願いするという形がいいのかどうかというのも、私自身、疑問に感じた。

【渡邊係長】

参考までに、参考資料2のとおり、津有区では、コロナによる影響を想定して、過去3年間に中止・縮小した活動の有無を質問している。中止、縮小した理由についても聞いており、こういった質問があってもよいと思う。また逆に、先ほどの意見のように、今後何か立ち上げる予定はないかということを新たに追加してもよいと思うので、この辺を参考にまた正副会長と協議し、質問項目を考えたい。

【高橋会長】

ただいまの事務局の提案としてよいか。

(よしの声)

今の意見を参考に、今後、事務局と内容を検討する。

次に子育てについて意見を伺う。

【保坂委員】

子供が減っている中で聞くとしたら、今、実際に子育てしている皆さんに聞いた方がよいのではないか。

【高橋会長】

今回のアンケートも、各団体に実施するということも考えたが、あまり幅広くすると、集計などが難しくなると考えた。町内会長であれば、町内のことは把握されており、具体的なことは、改めてその町内で子育てをされている方に意見を聞くことを考えている。

【保坂委員】

子供がいない町内もあると思うが、この問題は、町内会長が判断できるのか。

【渡邊係長】

先ほど学校統合の話もあった。今、学校統合の話でちょっとデリケートな時期でもあ

り、状況も変わってきそうなところでもあるので、例えば、制服の購入の負担感というのも、今後地域の皆さんがまた新しく考えられるような課題ではあると思う。これについては、一旦保留ということで、また時期が進んでからお聞きする機会を設けることとしてもよいのではないかと思います。

【高橋会長】

地区で小学生が20人ほどで、子供もいない町内も結構あるので、そういう配慮も分かるが、先々のことを考えると、この子育てというのはとても重要だと思う。人口減少しかり、今、子育てしている皆さんは大変な思いでしていると思う。学校へ行けない子供がいるという現実もある。逆に、町内からしっかり考えていただく機会にしたいと思う。

【渡邊係長】

子育ては、とても重要な課題だと思う。だからこそ、流動的な部分であるため、小学校、中学校の今後はどうなるのか、先ほど教育委員会から中学校の話があったように、これから地域や保護者の方が様々なところで様々な話を聞き、考え始めていると思う。このため、もう少し話が進み、学校統合の話などが浸透し、実際に今後その制服はどうするのかということを地域の皆さんが考えだしたときに聞いた方がよいと考えた。

【上野副会長】

事務局の話からは変わるが、現時点の町内会長の考え方、地区の考え方をある程度、アンケートで取っておくことが、中長期的には大事かと思う。

もう一つ、制服の件について、8月17日に行われるふるさと高士まつりで、小・中学校の制服と体操服を「なんでも市」へ出していただける保護者がいればということで、婦人会が考えている。したがって、そういう動きもあるので、やはり現時点のアンケートは取ってもよいのではないかと思います。

【高橋会長】

このアンケートを実施するに当たって、一番興味のあるのは何だということで、皆さんに意見をお伺いした経緯がある。上位に占めているのは、この子育て（保護者）の内容であるので、地域協議会の考え方を重視してアンケートを取ってもらいたいと思う。練りに練って、1年間様々な勉強をしながら、疑問に思うことや課題について協議してきた。これからの活動の中でも、各町内会でどのような考えを持っているのかということ参考になれば、我々がただ提案して、我々の中で実施するということでは、地域課題の解決は不可能である。私たち地域協議会の活動は、地域の考え方を重視しながら、

提案していくのが筋だと思う。

【塚田(誠)委員】

子育てに関して、小学校、保育園ではなく、町内の中で子供たちと町内の人がどのように接する機会があるのかということが一番重要だと考える。学校区や送迎についてではなく、町内で子供たちとどのように接しているのか、コミュニケーションが本当に取れているのかを確認した方がよい。また、今後確認するにはどうした方がよいのかという質問を入れてはどうか。

【上野(美)委員】

私も子育てを終えているが、送迎が大変、制服が高い等の内容について、例えば地域としてバスを出したり、制服のお金を負担したりするということは、現実的でないと考ええる。ここにある問題の解決策としてしまうと、大きな話になってしまうと前から思っていた。私も具体的な案が出ないが、町内会として子育てをする上での相談先や、どこで他の人と関わったらいいいのかということ。特に小中学校のPTA等に入るまでは、とても小さな世界で生きていかなければならなかった。子育てをする上でどういうことに関わるができるのかについて、町内単位や地域単位で教えてもらいたい。

【渡邊係長】

先ほどの私の話も踏まえて整理させていただくが、子育ての左側に記載してある統合も見据えた場合や、統合による新たな学校生活について不安なことというように、統合が前提でここに出てきている課題もある。これを除いた他の部分について、今回町内会へお聞きするという事で、整理させていただきたい。

上野委員が、大きな話をしても地域協議会で解決できないのではないかと心配されており、上野副会長からもヒントがあったが、地域で制服を譲るイベントのような活動というものもあるのかと思う。現段階では、大きな話が出ていてもよいと思う。

【高橋会長】

地域の方が関わるができることは何か、地域で子育てをしている方々にサポートできる手段はあるのかというような形で町内会に聞いてみたいと思う。他に、親子で参加できる行事を町内で考えたことはあるかという質問も加えたい。小学校や中学校関係なく、子供のいるお宅がある町内へ、そういった質問を投げかけることで、町内会として課題を意識してもらえないのではないかと考える。後は、町内会や行政等の様々な支援については、情報として皆さんに知ってもらう必要はないのかというところも考えた。

【塩尻委員】

難しい問題で、子供と地域がどういう接点を取ることができるかということだが、私の町内では先日、夜にホテルの観察会を実施した。その前にはひまわりを植え、咲き始めたので見てくださいという回覧も回している。それができるのは町内に小学生が6人いるからで、来年は2人減り、再来年にはまた減る。増える要素はなく、1歳ぐらいの幼児が最後となっている。今、上曾根は子供がおらず、稲谷もあと何年かすればそういう状況になる。子供が果たして最終的に稲谷に残っていけるかいけないかというのは別問題なので、町内会長に質問するということが難しいと思う。

【高橋会長】

人口減少という問題もあるが、その中の内容で上手く質問していければと考える。

【田中委員】

現状では難しい面もある。うちは孫がいるが、私の町内で子供が学校へ行っているのは2軒。私が子供の頃、祖父母と同居していなかったもので、帰っても留守で、他の祖父母がいる家へ遊びに行ったものだが、今はそういうことも無くなった。他人の子供に対して、何か言うこともなく、なかなか難しい時代になってしまった。私たちも他人の子には言わないし、逆に、本当は良くないことをしたら叱ってほしいが、皆さん全然何も言ってくれないので、今の時代は困ったものである。だから、町内会長に聞いても、答えに困るのではないか。「よそはよそ」という考えで家を留守にするから、子供を預かってほしいと頼むこともなく、本当に難しいと考える。

【高橋会長】

確かに昔は、隣近所や地域で見守る形で、子育てに参加するのは当たり前だったが、今は付き合いが希薄になった。まずは自分の生活だというところにシフトしていったのではないか。

【塚田(幸)委員】

私の町内も小学生がいる家は1軒で、今2年生、3年生、5年生だけで、赤ちゃんもない状態。そのため町内会長も困ると思う。

【高橋会長】

次に「人口減少」に移る。こちらについては、意見のある方から伺いたい。

【上野副会長】

まず一つは、空き家の活用、移住の促進について、新しい方が新築で入ってきている

が、新井柿崎線を越えて高士区には入ってこない。空き家は数軒あるので、例えば空き家を修繕して住むことができるような対策を行政に考えてもらいたい。

もう一つは、やはり人口減少の要因は、男性と女性が結婚しないという状況があるので、交流する機会を作ることが大切ではないか。高士ルミネでも行っているが、なかなか結ばれない。岩の原葡萄園などで交流の機会を作ること、1組でも2組でも交流が始まればと思う。私が自衛隊にいたときに、自衛隊の中で50人ずつ男女集めて、交流会を行ったところ、12組結婚した例もある。やはり回数だと思う。

#### 【保坂委員】

今、選挙の時期で、どの市会議員、県会議員、国会議員も人口減少をやると言っている。どういう案があるのかよく分からないが、Uターンではなく、Iターンや東京から地方に来てよかったという記事を見ると、女性や男性が住みやすい環境とは何かを考える。今は全国どこでも人口の取り合いをしているが、住みやすい環境をどう作っていくか、町内会長に聞いても分からないと思う。

#### 【高橋会長】

だから行政に提案する形の活動にもなる。委員の私たちが疑問符を投げかけなければ動かないし、投げかければ、何か行動も起こしてもらえる可能性がある。

#### 【塚田(誠)委員】

空き家の件で、私の町内では静岡から一人来たが、その人はネット上で移住先を見つけたとのこと。話によると、若い人たちにも田舎に住みたい人たちがいるらしい。空き家の情報を、空き家の場所や周りの風景はこんな感じで、こういうところで住みやすいというようなことを、アピールできるようなホームページのようなものを、高士区全体で作っても面白いと思う。町内で「こういう建物が空いているがどうですか」というような提案ができる場を作る気があるかどうか、確認しても面白いと思う。

#### 【高橋会長】

おそらく市ではそういう取組をやっていると思う。それと関連して、そこに登録する発案もできると思う。

最後に、私から何点か考えたことを発言する。近所付き合いについて、町内会長は今と昔を対比できると思うので、項目を追加し、昔は近所で子育てしていたが今はしていないなど、町内会がどんなふうになっちゃったかというような情報が欲しい。

あとは、高士の各地区、各町内の人口推移、20年前と現状について、それと今年のデ

一タと組み合わせたものを事務局から出してもらい、それを町内に問いかけていけば  
と思う。また、住みよい環境づくりとして、よく言われる関係人口、交流人口を増やす  
取組について、人がいなくなってしまうので、何か手立てを町内会長レベルでも考えて  
もらえればと思い、そういう質問を投げかけたい。そして、地域協議会では高士区の魅  
力についていろいろ協議したが、自慢できるものがある町内から、どんなものがあるか  
挙げてほしい。

他に意見がなければ、いただいた意見を事務局と協議しながら、内容等を確認して、  
皆さんにまた提案したいと考える。

以上で、次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

#### 【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：8月21日（木）午後6時30分から

高士地区公民館 大会議室（予定）

- ・ 諏訪区・津有区・高士区の3区合同の協議会開催

9月25日（木）午後6時30分から

津有地区公民館 大会議室（予定）

#### 【高橋会長】

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

（発言無し）

#### 【上野副会長】

- ・ 閉会の挨拶

#### 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。